

【加子母地区】 ◆各会場で寄せられた主な意見とそれに対する市の見解

意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道路の維持補修などは、誰でも賛成してくれますが、文化事業を分っていただくことは難しい。</li> <li>・ 加子母の「ふれあいの館」の建設についても、当時は反対されましたが、今は多くの方に利用されるようになりました。</li> <li>・ 信念を持ってやるのが大切で、実際にやってみないとわからないものです。</li> <li>・ 今回の説明内容も、普通のお年寄りにも分かりやすい説明にしてはどうか。</li> <li>・ 図書館は知識でなく知恵を養える場所であり、教育委員会と連携してやることを具体的に説明した方が分かり易いと思います。</li> <li>・ 一般の方に理解されることが難しい事業ですが、大切なことです。</li> </ul>
対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育委員会には、各学校へオリエンテーションに回りたいとお願いしています。小さい時から本に触れることは大切です。</li> <li>・ 中央図書館から学校への定期的な配本サービスも提案しています。</li> </ul>
意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 館長さんには、ぜひがんばっていただきたい。いろいろな反対の意見があると思いますが、読書と図書館の重要性をピーアールしてほしい。</li> <li>・ 私の子どもは発達に遅れがありましたが、小学校の時に本と出会い、どんどん発達していったので、親として本には感謝しています。読む力ができて社会の一員として成人できました。本で救われた人は多くいます。そういうことをもっとピーアールして欲しい。</li> <li>・ 図書館がきっかけになって未来を担う子どもたちのためにできることを、他の地域の情報も含めてピーアールしていただきたい。</li> <li>・ うちの子どもたちは恵那の図書館にすごく通っています。中津川の図書館には読みたい本があまり無いと言っていますが、読書を続けています。読書の重要性を反対している人たちにも、よくわかるよう説明してほしい。</li> </ul>
対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本などの読書活動は、テストと違いすぐに結果が出るものでなく、説明することが難しいですが、長い期間を経る中でおのずと結果（成果）が出てくるのが立証されています。</li> <li>・ 例えば、最近の事例では学力世界一と言われるフィンランドでは、読書量も世界一であり、読書が学力にもつながると立証されつつあります。</li> <li>・ 学校図書室での経験から、図書館には、心の不安定な子、悩みのある子も訪れる空間であると感じていました。</li> <li>・ 本は、時に「友」であり、「師」であり、「ドクター」です。図書館が本を借りるだけの場所でないことを、もっと伝えていきたいと思います。</li> </ul>
問	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校生の図書館利用の現状は？</li> </ul>
答	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 16～18歳の図書館利用が一番低いのが現状です。ここに中津川市立図書館の特徴がある気がします。</li> <li>・ 学習室が狭くて入れない、高校生とのネットワークも薄いと思います。今後は、図書館ボランティアに高校生の力がもっと入れられれば、と考えています。</li> <li>・ 新図書館では、54席の学習室や開館時間の延長により利用が増えてくるのではと思っています。現図書館は、勉強するにも16席で、すぐにいっぱいになってしまい、親が並んで席取りをするのが実態です。</li> <li>・ 平成19年にできた恵那市図書館は、その利用者（登録者）の20%以上が中津川市民です。いい場所ができると利用されるようになる証かとも思います。</li> <li>・ 中津川の図書館も、学校の勉強を持って来てもよいし、子どもだけでなく、一般の方にもいろいろな活動ができる場として使っていただきたい。</li> <li>・ 期待するのは、知恵に繋がる（我々は創造と言っていますが）図書館です。生活に役立つ、お年寄りにも利用いただく、そんな形で計画を進めたいと思っています。</li> </ul>

意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文学青年に影響されて自分も多く読書をしました。後に読んだ本の内容が自分の生活に関わるようになってきました。</li> <li>・ 読書は文化だから、また何かあった時に役に立つから、沢山読んだ方がよい。</li> <li>・ 図書館は必要な施設であり、具体的なことを説明した方がよいと思います。</li> </ul>
対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内 13 カ所で説明会を実施していきますので、具体的な説明は難しいところもありますが、皆さんにお知らせしていきたいと思います。</li> <li>・ 図書館が完成するまでにはあと 1 年半の時間がかかりますので、催し物など、いろいろと企画していきたいと考えています。</li> </ul>
問	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校生をもつ父親です。子どもは、にぎわいプラザに居てバスで夜 9 時頃に帰って来ます。図書館で勉強できることはありがたいし、閉館時間が夜の 8 時というのも適当と思いますが、図書館からバス停までのセキュリティも確認してほしい。</li> </ul>
答	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最も近いバス停は、淀川です。そこまでのセキュリティについては確認をします。</li> </ul>
問	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書館について、いろいろな噂が飛び交っていますが、何が問題になっているのか、なぜ反対の人が多いのか分かりません。</li> <li>・ 可能な範囲でよいので、計画段階で、問題になっている点について説明をしてほしい。早い段階で説明があれば、もっとスムーズだったと思います。</li> </ul>
答	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中心市街地を活性化する取り組み、にぎわいづくりの中で、何故図書館の話が突然出てきたのか、というよく聞かれる点についてご説明します。</li> <li>・ まちの顔である中心市街地ににぎわいを取り戻し、活性化していくと言うことの議論の中で、この場所に人が集まる図書館を建て活用していくことになりました。</li> <li>・ 説明の時間が足らなかった部分もあります。</li> <li>・ 昭和 63 年に図書館建設の請願が議会で採択されましたが、財源上の理由で建設できませんでした。今回は、財源上の問題もクリアでき、議会の議決に沿って実施しています。</li> <li>・ なお、今日の説明会については、リコール署名に対抗した形での説明会ではありませんので、政治的な動き等については、私どもの発言は控えさせていただきます。</li> <li>・ 建設に至るまでの経緯は、中心市街地活性化基本計画が平成 20 年 7 月に内閣総理大臣に認定されました。六斎市などもこの基本計画の一つです。</li> <li>・ 中心市街地活性化基本計画には 33 事業あり、その中に旧ユニー跡地に民間が複合ビルを建設する計画もありました。</li> <li>・ 市は、地元商店街などからこの複合ビルへの公的機関の参画要望を受け、活用について検討しましたが、決定に時間がかかり、計画がなかなかまとまりませんでした。その後、100%の補助で土地代が賄え、図書館の建設についても補助対象となったこともあり、この土地を取得し、図書館を建てることを意思決定しました。</li> <li>・ (株)新町開発が 2 億 9 千万で取得した土地を、市は 2 億 6 千万で購入したため、(株)新町開発は 3 千万円の損を出しています。</li> <li>・ この土地取得について国へ申請するまでの期限がそれから 2 ヶ月と短く、市民の皆さまへの説明が後手に回ることとなり、申し訳なく思っています。</li> <li>・ 複合ビルへの公的機関の検討の中で、各種団体や市民の方の意見を伺ったところ、図書館という意見が多くありました。</li> </ul>